

# ～さくらで繋ぐ～吉野小と地域の絆プロジェクト

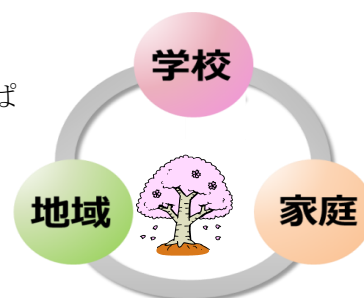
大牟田市 吉野地区公民館【公立公民館】館長 池松 幸一

## 1. 事業名

「～さくらで繋ぐ～吉野小と地域の絆プロジェクト」

## 2. 事業の目的

- (1) 吉野小学校と吉野のまちを、以前のように桜でいっぱいにしたいという子どもたちの夢、想いを実現させ、ひいては吉野を、より明るく住み良いまちにすること。
- (2) 学校を核とし、家庭、地域の三者が連携、協力し取り組むことで、桜をテーマとしながら、地域のみなさんのふるさとを想う心、郷土に対する愛着心や誇りの醸成を図ること



## 3. 事業の実施主体

大牟田市吉野地区公民館、吉野校区総合まちづくり協議会

## 4. 連携・協力機関・団体等

(株)エム環境デザインシステム 村田義郎先生（26年度）

大牟田市都市計画・公園課

## 5. 事業予算

26年度：416,000円（「福岡県地域活動実践型生涯学習事業」活用）

（※27年度：103,000円、28年度：117,000円）

## 6. 実施に至る経緯

- (1) 吉野小学校の5年生が、ユネスコスクールの取り組みの一環として、25年度に、以前のように、桜の美しい学校、そして、まちにしたいという思いから、「吉野小さくらプロジェクト」を発足したが、吉野のまち全体を桜でいっぱいにするには、地域の協力が不可欠であるということから、吉野小学校から吉野地区公民館へ、取り組みに対して協力の依頼がなされた。
- (2) 公民館には、地域におけるネットワーク作りや、人と人とのつながりを目指す「地域魅力アップ支援事業」（現在、「地域力アップ支援事業」）があることから、吉野校区総合まちづくり協議会との共催で、子ども達の夢の実現に取り組むこととした。26年度より事業を開始し、28年度に至っている。

## 7. プログラム作成の視点

- (1) 課題の認識・・・吉野のまちの桜の現状を知る。まちづくりの心得を学ぶ。
- (2) 動機付け・・・吉野小学校の5年生との意見交換を行い、子どもたちの思い

を知る。

- (3) 企画立案・・・自分たちに何ができるか、何をすべきか話し合う。
- (4) 学習・実践・・・企画した内容を実践する。
- (5) 振り返り・・・実践して感じた良かった点、悪かった点を話し合い、今後につなげて行く。

#### 8. 事業の内容（26年度）

- 吉野校区の住民20名が参加し、26年6月から翌年の1月まで、14回のグループワーク等を実施。
- コーディネーターとして、まちづくりアドバイザーとして活躍されている、(株)エム環境デザインシステムの村田義郎先生からの指導、助言を受ける。
- 「講義」では、吉野小学校の第3回卒業生の方に、吉野校区の昔の桜の状況を話していただき、村田先生には、「地域の中で、人と話し合い、笑顔で暮らす」というコミュニティのあり方が、まちづくりに重要だということを教えていただく。
- 「意見交換会」では、吉野小学校の5年生が、桜は吉野小学校に関わってきた多くの方の想いが詰まったシンボルで、吉野小学校の『宝』だと思うので、自分たちもこの想いを受け継ぎ、昔のように桜でいっぱいの美しい学校にしたいという思いを語ってくれた。
- 「企画立案」（3回）で、やはり最終目標は、子ども達の夢を叶えるため、桜の木を地域で増やしていこうということになる。
- 「学習・実践」として、桜の管理に必要な知識や技術を学ぶ「講習会」を開催した。
- 桜の苗木の購入資金を得るための「募金活動」、地域の方から提供していただいた品物で「バザー」を実施。
- その資金等をもとに、吉野校区内にある市の白銀公園に、5年生と一緒に、桜の苗木3本を植樹。
- 植樹実施後に「振り返り」を行い、今後の活動について話し合いを行う。

**【参加者】**  
吉野校区総合まちづくり協議会、吉野校区民生委員  
・児童委員、吉野小見守り隊、吉野小PTA（保護者）

※27年度以降も、この手順を基本とし、事業を継続している。  
また、桜の苗木を、27年度は3本、28年度は4本、市の別の公園に植樹した。

**1. 課題の認識：講義**



**2. 動機付け：意見交換**



### 3. 企画立案：打ち合わせ



### 4. 学習・実践：講習会



### 4. 学習・実践：バザー、桜の植樹



### 5. 振り返り：話し合い



## 9. 事業の成果

- (1) 当該事業における様々な取り組みを通して、地域住民同士、保護者同士のつながりはもとより、学校、地域、家庭の横のつながりが深まったこと。
- (2) 児童をはじめ、地域住民や保護者の郷土愛や地域に対する所属意識が醸成されたこと。

### 地域への活動周知チラシ（27年度作成）



### 参加者アンケート感想

- ・地域活動には、多くの人たちの協力が不可欠であることが分かったので、自分もできる限り地域活動に参加するようにしたい。
- ・ゼロからプロジェクトを始める大変さを感じたが、最終的な目標を達成した喜びを皆さんと分かち合えたのがうれしかった。
- ・「絆プロジェクト」を活かし、地域の後継者作りを考えることができるのでは

## 10. 今後の課題

- (1) 「絆プロジェクト」の事業継続
- (2) 植樹した桜の維持・管理
- (3) 「吉野小さくらプロジェクト」、「絆プロジェクト」の地域への周知
- (4) 今後の植樹場所の確保

## 問い合わせ先

〒837-0912 福岡県大牟田市大字白銀 781-3 大牟田市吉野地区公民館 池松幸一  
TEL 0944-58-3479 fax 0944-50-0494 Email [yoshino01@city.omuta.lg.jp](mailto:yoshino01@city.omuta.lg.jp)